

在園児および卒業生保護者様

### 林間学校日光太陽の村についてのお知らせ

本法人が約 50 年にわたり所有してまいりました林間学校「太陽の村」（栃木県日光市）につきまして、このたび売却することとなりました。

太陽の村は、開村当時の理事長 井上文代のもと、田舎を持たない子どもたちに“ふるさと”をつくりたいとの願いから開設された施設です。開村当初は赤い屋根の本館一棟から始まりましたが、その後ホワイトハウスや水晶池、ネイチャーセンターなどが整備され、在園児の宿泊キャンプや卒業生の野外活動、教職員の研修など、さまざまな活動の場として活用されてまいりました。前理事長 井上一彦の時代には、屋外でのバイキング形式の食事やトラクターでのドライブ、プールを利用した露天風呂、屋台形式の夕食、肝試しや花火大会など、子どもたちの心に残る多くの体験が行われてまいりました。

一方で、平成 23 年の福島第一原子力発電所事故に伴う放射能の影響により、当該地域でも汚染が確認されたことから、安全面を最優先に考え、本施設の利用は停止されました。それ以降、約 15 年にわたり使用を見合わせてきた経緯があり、現在の在園児の皆様はもちろん、多くの卒業生の皆様にとっても、実際に訪れたことのない場所となっているかと存じます。

しかしながら、太陽の村には、かつて多くの子どもたちが自然の中で過ごし、池で泳ぎ、せせらぎでおたまじゃくしを追いかけ、工夫しながら生活を営んだ数々の記憶が刻まれております。その一つひとつの積み重ねが、本学園の教育の歩みを支えてまいりました。直接ご存じない世代の皆様にも、そのような歴史があったことを心のどこかに留めていただけましたら幸いに存じます。

なお、本施設の売却先は「一般社団法人 太陽の村第二章」であり、本学園の元教員、宮里耕太を中心に、同じく元教員の鈴木寛子、中島宙紀が参画した団体です。太陽の村の理念や精神を引き継ぎ、新たな形での再興に取り組んでいく予定であります。同法人の紹介は添付の別紙をご高覧いただけますと幸いです。保護者の皆様におかれましても、同法人の活動に温かいご理解と、可能な範囲でのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

これまで太陽の村の歴史を支えてくださった多くの方々への感謝とともに、この場所が、これからも本学園の大切な記憶として受け継がれていくことを願っております。

令和 8 年 4 月吉日  
学校法人塩原育英会  
理事長 井上早苗